



発行:日本労働組合総連合会鳥取県連合会
発行人:北畑仁史 編集人:谷口龍太郎
住所:〒680-0847 鳥取市天神町30-5
TEL(0857)26-6605 FAX(0857)26-6615
E-mail:tottori@tottori.jtuc-rengo.jp
ホームページ:https://jtuc-tottori.jp

鳥取から賃上げの波を 2026春季生活闘争が力強くスタート! —「春季生活闘争開始宣言集会」を開催—

団結してがんばろう!



司会	主催者あいさつ	春闘方針説明	取り組み事例報告
			
写真左から/盛山修副会長(中小労働局長) 北畑仁史会長 河村正之事務局長	【取り組み事例報告】交通労連/日ノ丸西濃運輸労働組合・村尾昌彦執行委員長 フード連合/大山乳業農業協同組合労働組合・森 由香里書記長		

連合鳥取は2月7日(土)、ハワイアロハホール(湯梨浜町)において「2026春季生活闘争開始宣言集会」を開催し、構成組織・産別・単組から159人(女性34人・女性参画率・21.38%)の組合員が参加しました。

冒頭、北畑仁史会長は「昨年は2年連続で過去最高の賃金引上げを実現したが、物価高などから継続的な賃上げの必要がある」と訴えました。そして、「今春闘を労働組合のない職場にも波及させ、鳥取から日本の実質賃金を1%上昇軌道に乗せ、これからの「賃上げノルム」を確立していきたい」とあいさつしました。

■連合鳥取2026 春季生活闘争方針提起

河村正之事務局長から、春闘方針内容の説明に加え、賃金実態調査結果の分析や、それを基にした課題把握についての説明を行いました。

■産別事例報告

交通労連日ノ丸西濃運輸労働組合の村尾昌彦執行委員長、フード連合大山乳業農業協同組合労働組合の森由香里書記長から、春季生活闘争に懸けた熱い思いや、それぞれの組織での取り組み事例が紹介されました。

■2026春季生活闘争開始宣言

UAゼンセングッドヒル労働組合の霜村卓哉組合長が力強く宣言を読み上げ、参加者全員の拍手で確認されました。

最後に、北畑会長の「団結がんばろう」で集会を締めくくり、鳥取県内における2026春季生活闘争が本格的にスタートしました。



会場の様子/春闘方針に対して質問をする参加者



写真上/
「春闘開始宣言(案)」を読み上げるUAゼンセングッドヒル労働組合・霜村卓哉組合長

いよいよ春闘本番
物価プラス1%!!



組合の春闘目標は
全体で5%以上
中小は6%以上
有期/短時間・契約等7%目安

!!! さらさら引くらの向上
ひろびろ! 仲間の福

3月6日は
サブロク
「36の日」



3月8日は
「3.8国際
女性デー」



■特集 2026春季生活闘争■

経営者団体との意見交換会を開催

連合鳥取
2026春季生活闘争方針
はこちらから



2月9日(月)、連合鳥取・経営者団体との意見交換会を鳥取ワシントンホテルプラザ(鳥取市)で開催し、それぞれの立場から意見交換することができました。

鳥取県に限らず中小企業は「賃上げ疲れ」「人手不足」に悩まされていますが、互いに努力して経済の好循環を作ることを確認しました。



東部・中部・西部地域協議会「単組代表者会議」で春闘方針を確認!

—河村正之事務局長が3会場で方針を説明—

東部地協 2月16日(月)

／鳥取市福祉文化会館:78人



大橋良輔議長あいさつ



会場の様子

春闘方針を説明する河村連合鳥取事務局長



参加者全員で「団結してがんばろう!」

中部地協 2月17日(火)

／倉吉体育文化会館:36人



春闘方針の説明

月給賃金引き上げについて質問する組合役員



興治英夫 鳥取県議会議員



伊藤保 鳥取県議会議員



福井康夫 倉吉市議会議員



蓑原美百合 北栄町議会議員

推薦議員の活動報告



団結してがんばろう!中央は戸羽弘樹議長

西部地協 2月18日(水)

／米子コンベンションセンター:57人



遠藤史章議長あいさつ

米子市議会議員の活動報告



中田利幸 議員



伊藤ひろえ 議員



安達卓是 議員



団結用意!



参加者全員で「がんばろう!」

連合全国一斉集中労働相談ホットライン

「安心して働ける雇用を、すべての人に!

～みんなの力で職場を改善しよう～」を実施

フリーダイヤル 0120-154-052

連合は2月17日(火)、18日(水)、労働契約の更新時期を迎える年度末に向け、解雇や雇止めをテーマに、全国すべての地方連合会で「連合全国一斉集中労働相談ホットライン」を実施しました。

連合鳥取においても、産別から協力いただいた3人の組合役員と連合鳥取の専従役員が待機し、相談電話に対応しました。

これからも相談を通じて組合結成や処遇改善の取り組み、労使協定の適正な締結や集团的労使関係や仲間づくりへの理解・促進を図っていきますので、ご家族、友人・知人等で働くうえでのトラブルや疑問を抱えている人がいらしたら、連合鳥取をご紹介ください。



鳥取市長選挙 推薦決定

連合鳥取は、「第3回執行委員会(2月19日)」において、鳥取市長選挙(3月22日告示・3月29日投開票)に下記の予定候補者を推薦することを決定しました。

ふかざわ よしひこ (告示日時点の年齢/経歴/推薦依頼組織)(敬称略)
深澤 義彦 (73歳/現3期/自治労鳥取県本部・全水道山陰地区本部)



境港市議会議員選挙 結果

2月1日投開票で実施された境港市議会議員選挙(定数15)で、連合鳥取が推薦した 柗 康弘 候補者は当選されました。

当選に向けてご尽力いただきましたみなさんに心より感謝申し上げます。

ひいらぎ やすひろ ()は推薦依頼組織(敬称略)
当選 柗 康弘(立憲民主党) 702票(12位)



第51回衆議院議員選挙 結果 —構成組織と仲間のご奮闘に感謝申し上げます—

第51回衆議院議員選挙が1月27日(火)公示、2月8日(日)投開票の日程で行われました。

鳥取1区では、推薦候補者の新人「やがわひろみ」さんが現職候補に挑みましたが、壁は厚く残念ながら奮闘及ばず落選となりました。

鳥取2区では、推薦候補者の元職「湯原俊二」さんが国政復帰をめざしましたが、こちらも現役大臣の壁に阻まれ落選となりました。

また両候補とも比例での復活当選もかなわず、悔しい結果となりました。

選挙直前での新党結成や、解散から選挙公示日まで4日間と非常に短く、周知・浸透を図る間もなく選挙戦に入りました。構成組織・単組・地域協議会のみなさんには、各地で連日連夜、また、真冬の悪天候のなかでも献身的に、最後まであきらめることなく取り組みを進めていただきましたことにお礼を申し上げます。

連合は、今次選挙を「働く者・生活者のための政策を実現する政治を取り戻す重要な局面」と位置づけ、政治をリビルド(作り直し)すべく、働く者・生活者のための政治勢力の最大化をめざして闘いました。しかし、推薦候補者の当選を勝ち取ることができなかったことは重く受け止めなければなりません。今次選挙の総括を丁寧に行うとともに、連合が掲げる政策の実現に向けて、引き続き推薦議員と連携を図り、組織一丸となって取り組みを強化していきます。

選挙結果

■投票率 46.05%

鳥取県第1区	やがわひろみ【連合鳥取推薦】	国民民主党(新)	13,364票
	当 石破 茂	自民党(前)	66,146票
	豊 哲也	参政党(新)	11,734票
	塚田 成幸	共産党(新)	6,768票



東部・中部・西部地域協議会単組代表者会議で感謝のあいさつをするやがわひろみさんと湯原俊二さん

■投票率 49.29%

鳥取県第2区	湯原 俊二【連合鳥取推薦】	中道改革連合(元)	36,132票
	当 赤沢 亮正	自民党(前)	67,736票
	福住 英行	共産党(新)	4,862票



Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

3月6日は「36(サブロク)の日」

※「36協定」を結ぶことなく、残業させた場合は、法律違反!

36協定とは?



詳しくはこちら

連合は、労働時間に関する取り決めである「36協定」の“サブロク”にかけて、3月6日をきっかけに「自分の働き方」を見つめ直してほしいとの願いを込めて、3月6日を記念日として登録している。

そもそも36協定とは?

残業させる場合や、法定休日に労働させる場合には、あらかじめ労使で書面による協定を締結し、これを労働基準監督署に届け出ることが必要。

このルールが労働基準法第36条に定められていることから、通称「36(サブロク)協定」という。

【個別論点】

「長期の連続勤務」 「勤務間インターバル」



※連合ホームページトップのバナーからもアクセスできます

Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

3.8国際女性デー



3.8国際女性デーとは？

1857年にニューヨークの被服工場の火災で多くの女性たちが亡くなったことを受け、3月8日に女性たちが低賃金・長時間労働に抗議を行ったことが「3.8国際女性デー」の起源といわれている。

その後、1908年3月8日に、女性労働者たちが賃金改善と労働時間短縮、婦人参政権を求めて「パンとバラ」を掲げ、デモを行った。

以来、この日は「女性の政治的自由と平等のために行動する記念日」と位置づけられ、賃金・労働条件の向上を表す「パン」と、女性の尊厳・人権の確保を表す「バラ」をシンボルに、世界各国で様々な行動が展開されている。

連合は、1996年から春季生活闘争の中に国際女性デーの行動を位置づけ、全国で統一行動を実施している。

「2026春闘総決起集会(2/27・3会場)」で「3.8国際女性デーアピール」提起

3.8国際女性デー「街宣活動」

- ・3月8日(日)11時00分～30分程度(予定)／あじそうパープル店入口
- ・メモ帳・オニオンスープ配布

3.8国際女性デー「学習会」

- ・3月8日(日)14時00分～／新日本海新聞社中部本社ホール
- ・講演 「ハッピー・バイアス・トーク国際女性デーに贈る、気づきと対話の時間」
- ・講師／鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室
コーディネーター 山崎 有紀子さん

女性委員会 予定

第97回鳥取県メーデー大会

(スローガン)

対話と連帯で築く、平和で笑顔あふれる未来
真の働き方改革で、安心してらせる社会を！

開催日 2026年4月25日(土)

開催地 県内3会場

- ・中央大会(＝中部)
- ・東部地域大会
- ・西部地域大会

※現在、各地域協議会を中心に開催方法・内容等企画。決定次第、ご案内します。

募集！「ワークルールクイズ」に参加しよう！

- ★産別を通じて「問題」を配布します。設問は5問(「ワークルール検定」問題より引用)
- ★メーデー大会当日に応募箱に投函してください。
- ★後日、採点し、5問すべての正解者の中から、抽選で300人に産別を介して賞品を渡します。

「フードドライブ」「エコキャップ回収」にご協力ください

当日、会場にお持ちください。

— 詳しくは各地域協議会からご案内します —



「ザ・議員」

伊藤 保 鳥取県議会議員

「怖い熱中症」

12月定例県議会で、私の経験から「熱中症対策」について議論をしました。

昨年鳥取市を例にみると、最高気温35度以上の猛暑日が39日間と命の危険を覚える記録的な暑さでありました。我が家も農家で、7月下旬の夕方、午睡から目が覚めると突然両足のけいれん、めまい、噴き出す汗、嘔吐し意識を失い救急搬送され緊急入院。中等症の熱中症で、今でも後遺症と戦っています。

昨年、県内の熱中症の搬送者数は616人ですが、搬送された以外の人を含めると3,000人と推計されています。

昨年6月には労働安全衛生規則が改正され、熱中症予防対策が事業者にとって必須の労務管理となり、対策が義務化になりました。

みなさんの職場でも改めて点検してみませんか。



令和7年12月定例会にて

中田 利幸 米子市議会議員

昨年は国会の少数与党化により、議会制民主主義が機能しはじめた年でした。しかし高市政権となり、公明党の与党離脱を契機に独自色を強め、国民の求める「生活」より自身の求める「国家」へ突き進むようとしています。

私はこれまで、働く者、生活者の視点から、人口減少と高齢化の中での生活基盤となる都市構造や経済・雇用環境、次世代の育成環境をテーマに活動してまいりました。高齢社会で過度にマイカーに依存する生活から、移動効率の良い都市構造へ交通結節点と公共交通を基盤としたまちづくりをめざし、米子駅南北バリアフリー化に引続き、移動目的地となる大・中・小の交通結節点機能の配置をめざしたいと考えています。また、地域経済の活性化と雇用確保のための効果的な施策や、次世代のための生活基盤をめざしたいと思います。

引き続きのご指導をお願い申し上げます。



「JR西労組青年女性委員会ユーススピーチ」で講演

「第51回衆議院議員総選挙は、自民党の大勝という結果に終わりましたが、私たちが連合が推薦・支援した中道勢力にとっては、厳しい審判であったといわざるを得ません。しかし、選挙は単なる勝敗ではありません。働く者、生活者の声を政治に届けるための大切な手段です。だからこそ、今回の結果を真摯に受け止め、なぜ支持者が広がらなかったのか、何が有権者には十分伝わらなかったのかを、私たちは率直に振り返らなければなりません。▼短期決戦の中での準備不足、日常的な政治活動の浸透度、組合員一人ひとりへの情報共有の在り方、反省すべき点は少なくありません。同時に、政治と距離を感じる声や「自分の一票で何が変わるのか」という戸惑いにも、向き合う必要があります。選挙が終わった瞬間から、次の選挙は始まっています。これは決して比喩ではなく、日常の取り組みこそが次の結果を左右するという現実です。平時から、なぜ私たちが政治に関わるのか、なぜ政策実現のために推薦・支援を行うのかを、丁寧に語り続けることが不可欠です。▼現場の声を国政へ「働く者の賃上げ・雇用の安定、安心して暮らせる社会保障、これらは政治の決定によって左右されず、だからこそ、私たちは諦めるわけにはいきません。今回の敗戦を、単なる「残念な結果」で終わらせるのではなく、次の糧とする。そのためには、組織の足腰を鍛え直し、対話を重ね、共感を広げる活動を積み重ねていきたいと思います。▼悔しさを力に。反省を前進へ。次こそは、働く者・生活者の声が大きく政治に届くよう、歩みを止めず取り組んでいきましょう。

(楠豆子)



てんてんてんてん



再生紙を使用しています